

2019年3月期 決算の概要について

2019年 5月15日



I. 2019年3月期 決算 - セグメント業績

[対前年度比較]

<航空宇宙>

販売面は、航空機用脚部品の開発品主体に減少。

損益については、販売構成の変化等により後退。前回予想に対しては、経費削減を主体に改善。

<熱交換器・環境>

熱交換器の需要は徐々に回復傾向にあり、前年度に対し増収。損益面では、増収および合理化等に伴い、黒字化。

<ICT>

マイクロマシニング装置および半導体用熱処理装置の受注増加に伴い、増収増益。

(参考)

<対米ドル為替期中平均> <111> <111> <109> <111> (億円) <111>

	2018年3月期			2019年3月期			対前年度差異			前回 通期 予想*
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期	下期	通期	
売上高	206	266	472	207	283	490	1	17	18	495
航空宇宙	150	159	309	132	172	304	-18	13	-5	305
熱交換器・環境	36	47	83	37	53	90	1	6	7	95
ICT	20	60	80	38	58	96	18	-2	16	95
営業利益	-0.6	20.9	20.3	6.6	19.2	25.8	7.2	-1.7	5.5	23.5
			4.3%			5.3%	0.0%	0.0%	1.0%	4.7%
航空宇宙	6.9	5.6	12.5	3.6	6.9	10.5	-3.3	1.3	-2.0	9.0
			4.0%			3.5%			-0.6%	3.0%
熱交換器・環境	-3.5	0.8	-2.7	-1.8	4.7	2.9	1.7	3.9	5.6	2.5
			-3.3%			3.2%			6.5%	2.6%
ICT	-4.0	14.5	10.5	4.8	7.6	12.4	8.8	-6.9	1.9	12.0
			13.1%			12.9%			-0.2%	12.6%

* 2019年3月14日公表の通期予想

営業外損益： 当年度は、1年を通じて比較的為替が安定的に推移した結果、営業外為替差損益が好転したこと等に伴い、前年度から営業外損益は好転。

特別損益： 防衛装備品に関する不適切な工数付替えの発覚に伴い、過大請求分の返納等に係る防衛装備品関連損失引当金繰入額 約50.6億円を計上。また、航空機用脚整備事業等の子会社業績の悪化により、固定資産の減損損失 約3.2億円を計上、カナダ改編に伴う構造改革費用として約1.8億円の損失を計上。

配当： 安定的な配当継続を基本方針としておりますが、防衛装備品関連損失については関連調査が現在も続いており、その見通しが明らかになるまでにはしばらく時間を要することから、未定としておりました下期配当については、誠に遺憾ながら、無配とさせていただきます。

(参考)

	<対米ドル期末為替水準> <112> <106> <113> <111>		(億円)			<105>	
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	2019年3月期		19/3-18/3 通期 増減		2019年 3月期 前回予想
			上期 実績	下期 実績	通期 実績		
売上高	480	472	207	283	490	18	495
営業利益	7.3	20.3	6.6	19.2	25.8	5.5	23.5
(営業利益率)	1.5%	4.3%	3.2%		5.3%	1.0%	4.7%
営業外収益	2.9	6.7	4.4	1.3	5.7	-1.0	3.0
営業外費用	-9.4	-6.5	-1.7	-2.9	-4.6	1.9	-3.5
経常利益	0.8	20.5	9.3	17.6	26.9	6.4	23.0
(経常利益率)	0.2%	4.3%	4.5%		5.5%	1.1%	4.6%
特別損益	-11.2	-6.1	-1.2	-54.5	-55.7	-49.6	-52.0
税引前当期利益	-10.4	14.4	8.1	-36.9	-28.8	-43.2	-29.0
当期純利益	-14.9	5.0	4.5	-27.0	-22.5	-27.5	-25.0
EPS(円/株)	-281	95	85	-511	-426	-521	-472
ROE	-	1.5%	1.4%	-	-	-	-
配当 (円/通期)	50	50	25	0	25	-25	(※)

(※) 上期25円、下期未定

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、EPSを算定しております。また、配当についても同様に当該株式併合が行われたと仮定して記載しております。

[対前期比較]

<航空宇宙>

販売面は、官需主体に増加。想定為替レートは、105円/米ドル。損益面では、増収等により改善するも、想定為替レートの円高影響、および航空機用熱交換器の開発費増加等もあり、改善幅は限定的。

<熱交換器・環境>

熱交換器の需要は回復傾向にあるも、販売構成の変化による採算性の低下に加え、エレクトロニクス分野の熱交換器および半導体向けオゾナイザーの営業・開発強化もあり、損益は若干後退。

<ICT>

販売は、ほぼ横ばい。損益面では、販売構成の変化による採算性の低下に加え、開発およびシステム投資の増加により後退。

<対米ドル為替期中平均> <109> <111> <105> <105> (億円)

	2019年3月期			2020年3月期			対前期差異		
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	上期	下期	通期
売上高	207	283	490	275	260	535	68	-23	45
(内、為替差)							(-3)	(-3)	(-6)
航空宇宙	132	172	304	160	170	330	28	-2	26
熱交換器・環境	37	53	90	50	60	110	13	7	20
ICT	38	58	96	65	30	95	27	-28	-1
営業利益	6.6	19.2	25.8	11.5	12.5	24.0	4.9	-6.7	-1.8
(営業利益率)			5.3%			4.5%			-0.8%
(内、為替差)							(-2)	(-2)	(-4)
航空宇宙	3.6	6.9	10.5	3.0	11.5	14.5	-0.6	4.6	4.0
			3.5%			4.4%			0.9%
熱交換器・環境	-1.8	4.7	2.9	0.5	2.0	2.5	2.3	-2.7	-0.4
			3.2%			2.3%			-0.9%
ICT	4.8	7.6	12.4	8.0	-1.0	7.0	3.2	-8.6	-5.4
			12.9%			7.4%			-5.5%
営業外収益	4.4	1.3	5.7	3.0	2.5	5.5	-1.4	1.2	-0.2
営業外費用	-1.7	-2.9	-4.6	-4.0	-1.5	-5.5	-2.3	1.4	-0.9
経常利益	9.3	17.6	26.9	10.5	13.5	24.0	1.2	-4.1	-2.9
(経常利益率)			5.5%			4.5%			-1.0%
特別損益	-1.2	-54.5	-55.7	0.0	0.0	0.0	1.2	54.5	55.7
税引前当期利益	8.1	-36.9	-28.8	10.5	13.5	24.0	2.4	50.4	52.8
当期純利益	4.5	-27.0	-22.5	7.5	9.5	17.0	3.0	36.5	39.5
EPS (円/株)	85	-511	-426	142	180	321	57	691	747
ROE	1.4%	-	-	2.3%	-	5.2%	-	-	-
配当 (円/通期)	25	0	25	(未定)	(未定)	(未定)	-	-	-

- ・ 2018年度もフリーキャッシュフローは黒字を継続 (+29億円)
- ・ 有利子負債の圧縮を進め、D/Eレシオは 0.85 へ改善
- ・ 2019年度 フリーキャッシュフロー予想 +5億円
防衛品関連損失の支出 ▲50.6億円の対応として、運転資産を圧縮し、フリーキャッシュフローの黒字を確保

(億円)

	2014年 3月末 実績	2015年 3月末 実績	2016年 3月末 実績	2017年 3月末 実績	2018年 3月末 実績	2019年 3月末 実績	2020年 3月末 予想
総資産	799	819	830	778	801	813	740
有利子負債合計	284	296	317	304	288	257	240
自己資本(純資産)	332	354	336	323	336	302	315
D/E レシオ	0.85	0.84	0.94	0.94	0.86	0.85	0.76
自己資本比率	41.0%	42.4%	39.6%	40.5%	40.6%	35.7%	40.9%
ROE	1.8%	4.3%	-	-	1.5%	-	5.6%
FCF	-32	-18	-39	27	44	29	5